



高等学校
活用事例

DISC1

映像編 第4章① (導入映像) 「学校の1年間」

「日本の学校行事と自分の国の学校行事」

学習内容

日本の学校行事を理解し自分の国の学校行事と比較する

学習の目標

- ・日本の学校行事について理解を深め、主体的に参加する意欲をもつ。
- ・自分の国の学校行事を紹介し、積極的に交流を深めることができる。

活用する「東京の学校生活」の主な教材



DISC1 映像編
第4章①
「学校の1年間」



DISC2 資料編
多言語カード PDF
「1年間の行事カード」

行事名	期	時期	内容	備考
運動会	秋	10月	陸上競技、球技、ダンス	
文化祭	秋	11月	展示、発表、模擬店	
クリスマス会	冬	12月	クリスマス会、発表	
卒業式	春	3月	卒業式、入学式	

DISC2 資料編
「1年間の行事一覧」

学習の流れ (例)

	主な学習内容・活動	指導内容	教材
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京の学校生活」資料編の多言語カードを使い、1年間の学校行事の語彙を理解する。 ・「1年間の行事一覧」を活用し、語彙を理解できたか確認する。 	<p>学校の行事名に合わせて語彙を変えたり、オリジナルのカードを作成したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の理解度や目的に応じて、①意味が分かる、②言える、③書けるようにする。 	<p>資料編 多言語カード PDF 「1年間の行事カード」</p> <p>資料編 「1年間の行事一覧」</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・映像編第4章①を日本語音声・字幕なしで見て、適宜映像を止めながら、内容を理解できているか確認する。 	<p>必要に応じて、字幕ありにしたり、スクリプトの空欄に書き取らせたりする。 ※難しい場合は多言語カードや多言語音声・字幕も活用する。</p>	<p>映像編 第4章① 始まり～終わり</p> <p>資料編 多言語カード PDF 「1年間の行事カード」</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の学校行事でおもしろいことや不思議なことなどについて共有する。 ・自分の国の学校にはどのような行事があるか、日本と比較しながら紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不安なことや困っていることがあればよく聞き取ってアドバイスをし、生徒の主体的な参加を促す。 ※自校の学校行事に応じて適切な対応を検討する。 <p>1分間スピーチやプレゼンテーション形式で実施する方法も検討する。</p>	<p>資料編 多言語カード PDF 「1年間の行事カード」</p> <p>資料編 「1年間の行事一覧」</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に体験した日本の学校行事について、振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価値観や友人関係の変化、今後の課題など、新たな気付きから自己理解・他者理解を深め、次の行事に生かす。 	

活用の効果・ポイント 1

(1) 生徒の様子

日本の中学校を卒業した生徒は学校行事についてある程度理解しているが、来日して間もない生徒や外国の中学校から直接入学した生徒は、日本の多様な行事に戸惑いを覚えることも少なくない。

(2) 本資料を活用した効果の実感・感想

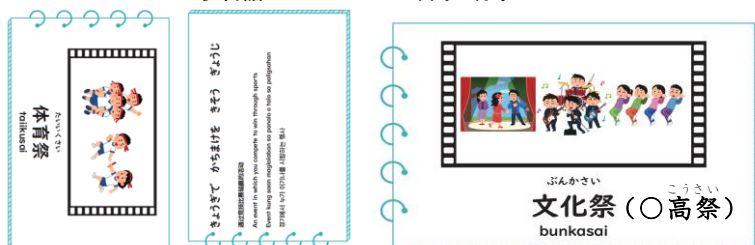
DISC 2 資料編の多言語カード PDF「1年間の行事カード」(※1)を切り離すと、①説明からイラストを取る、②行事名から説明カードを取る、という「行事かるた」が可能となり、楽しんで覚えることができた。

(3) 映像編・資料編の活用ポイント

DISC 2 資料編の多言語カード PDF「1年間の行事カード」(全14枚)は、必要に応じて取捨選択したり順番を変えたりして実際の年間行事予定に合わせて活用すると理解しやすい。また、「〇高祭」や「〇〇大会」など、学校独自の行事や名称も教えるとより自校の実態に合致する。

DISC 2 資料編の「1年間の行事一覧」(※2)を活用すると、理解度チェックシートが作成できる。①説明を聞いて行事名を答える、②行事名から説明をする、③空欄に漢字やひらがなで書き込む、などの活動を通して、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」力を伸ばす。入学後、なるべく早い段階で学校行事について理解を深める機会をもてるとよい。

※1 多言語カード PDF 1年間の行事カード



※2 1年間の行事一覧

日本語ワード	ひらがな	ワード説明(日本語)
1		きょうぎで かちまけを きそう きょうじ
2		なつに ある がっこうの ながい やすみ
3		えんげきや がっきえんそう などの はっぴょうや もよおしを すること
4		せいとが じゅんびして おみせを だす こと
5		かぞくと はなれて せんせいや ともちと しゅくはくする きょうじ

活用の効果・ポイント 2

(1) 生徒の様子

体育祭や文化祭などの行事に対して最初は受け身で消極的でも、友達とコミュニケーションが取れるようになると、自然と自ら進んで取り組めるようになる生徒もいる。学校行事をきっかけに自己理解・他者理解がより深まるよう、自分の言葉で表現できる力を付けていくことが大切である。

(2) 本資料を活用した効果の実感・感想

DISC 1 映像編第4章①「学校の1年間」(※3)を字幕なしで視聴し、聞き取った単語を空欄に書き込む活動では、集中して取り組む様子が見られた。聞き取りながら漢字で正しく書くことが難しい生徒もいるが、事前に語彙の確認をしてから実施することで、すぐに字幕付きに頼らなくても個々の能力に応じて仮名や漢字で書き取ることができ、日本語能力の向上につながることができた。

(3) 映像編・資料編の活用ポイント

映像編は日本語、中国語、英語、フィリピン語、韓国語・朝鮮語の5言語の音声・字幕をそれぞれ選べ、字幕の有無も設定できる(※4)ので、生徒の母語や理解度、目的に応じて活用できる。

※3 第4章① 5分35秒



※4 第4章① 3分15秒

